松本市教育研修センターだより

No.3　令和４年７月15日

「訪問型特別支援教育研修」がスタートしました

今年度のあらたな取り組みである「訪問型特別支援教育研修」が、各実施校でスタートしました。

今年度は10校がこの研修を実施していますが、今回、取り組みをスタートいただいた学校の中から２校の様子を紹介したいと思います。

いま行われている取組みのよさと、今後の方向を職員全員で共有

Ａ小学校では、校内音楽会を実施した日の放課後、第１回の研修が行われました。講師の先生が各学級を訪問し、子どもの様子を参観したのち、全校の先生方向けに講師の先生による研修が行われました。

「通常学級における配慮が必要な児童の理解と、支援の工夫について」と題された研修の中で、特別支援教育そのものの理解、児童理解のあり方や具体的な支援の工夫等について、時に学級の子どもたちを思い浮かべた演習を交えながら丁寧にお話しされ、先生方は熱心に講師の先生の言葉に耳を傾けていました。講師の先生はすでにＡ小学校の各学級で行われている「配慮・支援」の良さを具体的に取り上げ意味づけられ、Ａ小学校の良さとして先生方と共有されていました。

熱心に演習に取り組むＡ小の先生方

「訪問型特別支援教育研修」は、講師が年間を通して学校を訪問し、授業参観をしながら、基本的な子ども理解に係る基礎研修や先生方との懇談等を行い、支援の在り方についてともに考えることを通して、特別支援教育についての学校全体の力の向上を目指すものとして企画されました。

松本養護学校の宮内かつら先生、寿台養護学校の倉澤輝巳先生の全面的な協力を得て、実現しました。

個別の子どもに係る教育相談とは異なり、講師の先生が学校全体に継続的にかかわりながら、みんなで子ども、学級の成長、そして教師自身の成長を共有することで、特別支援教育に係る学校力の向上を図ることを目的としています。

各実施校ではそれぞれの課題や願いを講師の先生と相談し、それぞれ最適と思われる研修の進め方を工夫し、実践していることもこの研修の特長です。

継続的に見守ってきた子どもの育ちを共有し、全校を挙げた取組みの大切さを確認

Ｂ中学校では講師の先生が３年生を中心に、授業の様子を参観し、気が付いたことや今後の支援の方向について、関係の先生方と懇談し、共有する形で１回目の研修が行われました。

実はＢ中学校には、昨年度、講師の先生が教育相談という形で訪問され、その際の「先生たちみんなで同じ声がけをしましょう」というアドバイスを校長先生、教頭先生はじめ、すべての先生方が意図的に実践してきた、という経緯がありました。担任の先生方の支援・配慮の継続もあり、当該の子どもたちが大変落ち着いて学習活動に取組んだり、友と交流したりなど、大きな成長の姿が見られました。講師の先生から、先生方に子どもの頑張りと、先生方のかかわりの良さが伝えられ、あらためて「まなざしを同じにして子どもたちに関わる」ことの大切さが実感・共有されました。

学都松本寺子屋事業「寺子屋先生・サポーター研修」を実施しました

教育研修センターでは、学都松本寺子屋事業に、寺子屋先生・寺子屋サポーターとして地域の子どもたちに勉強を教えてくださる方々に対して、「松本市で大切にしている教育のあり方」「子どもの支援者として理解いただきたいこと」等について研修を実施しています。

７月７日（木）　松本市勤労者福祉センターにて第１回の研修会を行いました。

【学都松本寺子屋事業とは・・・】

学校や家庭以外の居場所で、地域の子どもを応援したい大人が、子どもの思いに寄り添いながら学習を支援することで、地域の大人が子どもたちを支える仕組みを作っていくものです。

【主な研修内容】

○**「松本市の教育の基本的な理念」**

・学習指導要領改訂の考え方を受けて、「主体的・対話的な深い学び」の視点から育成すべき資質・能力の三つの柱（知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）

・松本市教育大綱（令和4年2月14日）「学都松本の主人公は子ども」を受けて、自己肯定感を育む大切さと寺子屋先生・寺子屋サポーターの役割の重要性

○**「寺子屋先生・寺子屋サポーターの心得５箇条」**

①まずは笑顔で ②ほめることを大切に ③子どもの話をじっくり聴いて ④声をかけることも大切に ⑤叱るときはできるだけ短く

○**「寺子屋先生・寺子屋サポーターのコンプライアンス研修」**

①守秘義務をいつも心に止めて！ ②身体接触や子どもたちを傷つけるような性的な言動（セクシャルハラスメント）等には注意を！ ③体罰は厳禁（行き過ぎた指導、暴言等も含む）！

今回研修会に参加された皆様方は、松本の子どもたちを応援しようと、時に質問しながら内容を確認されるなど、大変熱心に研修に参加されていました。

「寺子屋事業」が、放課後帰宅した子どもたちが、このような大人に見守られながら、困っていることを相談したり、学習を支援していただいたりして、安心して過ごせる居場所づくりにつながっていくことを心から願っております。

今後の教育研修センター実施研修　８・９月

○8/3（水）10：00～15：00　松本市勤労者福祉センター　3-3 会議室
　特別支援教育研修会　夏季スキルアップ研修会
　「子ども真ん中支援」～子どもも保護者も先生も孤立しないために～
　講師：信州大学教職支援センター教授　庄司　和史　先生

○9/16（金）15：30～　教育文化センター
　松本大学　上月康弘先生と学ぶ「小学校国語の授業づくりの基礎・基本」（第１回）

○9/20（火）15：30～　教育文化センター
　松本大学　佐藤茂太郎先生と「明日の算数授業を語り合う会」（第１回）

○9/22（木）15：30～　教育文化センター
　ミドルリーダー研修会「○○主任のお仕事ゼミ」（第１回）

お問合わせ・お申込みは
教育研修センターへ
0263-87-9909
e-kensyu@city.matsumoto.lg.jp